

令和 6 年

亀山市教育委員会第 6 回臨時会会議録

亀山市教育委員会第6回臨時会会議録

1. 日 時

令和6年11月8日（金）午前10時00分開会

2. 場 所

本庁舎3階理事者控室

3. 出席委員

教育長	中 原 博
1番委員	若 林 喜美代
2番委員	大 平 雅 章
3番委員	宮 村 由 久
4番委員	吉 岡 洋 子

4. 欠席委員

なし

5. 議事参与者

教育部長	亀 山 隆
教育総務課長（以下総務課長という。）	麻 生 俊 哉
学校教育課長（以下学校課長という。）	武 居 政 敏
生涯学習課長（以下生涯課長という。）	落 合 努
図書館長	高 重 京 子
学校教育課主任主査兼学事教職員グループリーダー（以下学事GLという）	加 藤 剛
学校教育課主幹兼教育支援グループリーダー（以下教支GLという）	北 川 恵美子
学校教育課主幹兼教育研究グループリーダー（以下教研GLという）	谷 京 子
教育総務課主幹（兼）保健給食グループリーダー（以下保給GLという。）	渡 邊 尚 也
教育総務課主幹（兼）教育総務グループリーダー（書記）（以下総務GLという。）	中 野 貴 晶
教育総務課教育総務グループ主事	岩 谷 千 夏

6. 会議録署名者指名

3番委員（宮村由久委員）

4番委員（吉岡洋子委員）

7. 議事

教育長 議案第50号「令和6年12月亀山市議会定例会教育行政現況報告について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育部長 令和6年12月亀山市議会定例会に提出する教育行政現況報告を別冊のとおり策定することについて、委員会の議決を求めるものです。

（令和6年12月亀山市議会定例会教育行政現況報告事務局朗読）

若林委員 資料3ページ給食関係について、「配膳室やエレベーターの設置箇所をまとめた基本設計を完了し、・・・実施設計を進めている」とあるが、実際にはどのような場所に設置するのか分かる範囲で教えていただきたい。

総務課長 亀山中学校については、第3棟に配膳室とエレベーターを設置する予定です。また、第1棟については、デリバリー給食を実施しており、既に配膳室と乗用エレベーターがあります。第2棟には2クラスの教室がありますが、その2クラスは第3棟へ移動いただく予定をしています。中部中学校については、教室が全て東側の校舎に固まっているため、その棟にエレベーターと配膳室を設置する予定です。図面等が無く申し訳ありませんが、12月の市議会定例会にて資料の提出を考えていますので、次回11月定例会において、資料を提出させていただきたいと思います。

教育長 中部中学校は、現在、牛乳は正門から入っているが。

総務課長 今回の給食については、牛乳を含め、田村町やみずほ台側のグラウンド下からの道路を使用した搬入を予定しています。

若林委員 亀山中学校は校舎と事務センターとの間に設置するということか。

総務課長 そのとおりです。第3棟の東側になります。

宮村委員

2点お聞きしたい。1点目、現在、トリエンナーレが実施されており、市長部局の所管になると思われるが、教育委員会の方も協賛等行っていると考えられる。この部分については、ふれなくてもいいのか。

2点目、学校訪問を行っている中で、質問の仕方もあったのかもしれないが、「図書館と小中学校との連携はどうか」という問いに、あまり芳しくないとの返答があった。ぜひ図書館との連携、協働についても進めていただきたいと思う。本日の資料においては、同時アクセス無制限パッケージの導入についてふれられているが、今月から始められる中で、その状況についてお聞きしたい。

図書館長

2点目の状況については、学校教育課と連携し進めているところですが、その図書の内容を確認していただく作業をお願いしています。学校でアイコンを作り、児童生徒が確認できるように進めております。パック内容については、1つは角川漫画学習パックで30点あります。内容は恐竜時代を学ぶ人気のシリーズや自然科学に関するシリーズの漫画等があります。もう1つは汐文社読み物・絵本パックという23点のもので、命や生、健康、戦争などの社会の問題に触れるような読み物を選定しており、絵本つきで読みやすいものとなっています。一人一台端末から自動アクセスし、利用者のIDとパスワードを入力すると、読み放題の図書を選択できるようになっています。貸出冊数は1冊で貸出期間は1週間となっており、自動で返却されるようになっています。

教育長

まだ使えないのか。

図書館長

現在、確認作業中であり、11月末頃開始を予定しています。

教育部長

1点目、トリエンナーレについては、今年、文化年の行事と合わせて開催されています。ただ、全ての学校で何かワークショップ的なことを実施するといったことはなく、やはり市長部局主体の取組であることから、教育行政現況報告では報告しない形で考えています。

教育長

市長の市政報告では出てくるかもわからない。

吉岡委員

1点目、資料2ページ、るんるんスクールについて、日本に来て初めての学校という方もいると思うが、保護者や先生の反応をお聞きしたい。参加人数や開始時間等含めてお願いしたい。

2点目、不登校事案関係の中で、資料2ページ下から3行目「完全にクラスへもどることができる子も増えてきています」とあるが、この「完全に」というのはどういう段階を表現しているのか。

3点目、資料3ページ、オンラインメンタルヘルスケアシステムに関して先行実施に協力するとあるが、内容を教えていただきたい。

教支GL

1点目、昨年度は6名が参加され、授業体験や、筆箱や連絡袋等の小学校に必要な持ち物を実際にランドセルの中に入れてもらいました。また、保護者に対しては、連絡帳が大事なツールになっており、学校との連絡は密にとっていかなければいけないことを伝えました。子供たちにはひらがなの勉強を少ししていただきました。保護者に関しては、学校の様子が理解できたとか、小学校の先生に相談すればいいということを理解してもらって、安心して帰ってもらった様子があります。子どもたちには、学校への期待感を持って帰ってもらったと思います。

学校課長

2点目「完全にクラスへもどることができる子も増えてきています」という表現について、9月に県教育委員会の調査があり、もう校内教育支援センター等を使わずに教室で全ての時間過ごせる児童生徒という意味でこの言葉を使用しています。今回はこのような表現を使わせていただきましたが、少し分かりにくいのであれば、表現について検討させていただきたいと思います。

3点目、現在このシステムは国のものであり、ココロボという成人向けのメンタルヘルスをチェックできるケアシステムがあります。今回のシステムは、その中学生版として実証研究していただきたいという話を受け、三重県としては三重大学の松浦教授が窓口となり、亀山市含め、松阪市、志摩市、鈴鹿市等とともに連携し、この先行実施に協力していくというものです。1人1台端末の中にココロボジュニアにアクセスできるID等を入れ、中学生がアンケートに答えて、自分のメンタルをチェックできるというシステムで、その状況によってオンライン相談やインターネットを通じた対面での相談や、必要であれば医療機関に繋いだりすることができるというシステムとなっています。校長会でも説明

予定ですので、同様の資料を次の教育委員会会議にお示させていただきたいと思います。

大平委員

1点目、資料1ページのみえ四葉ヶ咲中学校について、募集が先月20日から入学希望説明会が県内各地で開催されているとあるが、亀山市でも開催されているのか。また、亀山市内の希望者はいるのか。

2点目、資料3ページの中学校給食について、先ほどの説明の中で、亀山中学校2棟2クラスの生徒は3棟に移動して給食を取ると理解したが、給食時間があまり長くない中で時間的には大変だと懸念される。如何か。

学校課長

1点目、中学校の学校説明会等につきましては、県内いくつかの場所で開催されてはいるものの亀山市での開催はありません。実際、亀山市の方が行かれるのであれば、津会場か伊賀会場が目安になると考えています。希望者については、個人情報になるため、回答を控えさせていただきます。

総務課長

2点目、基本的にはクラスごと移動するという考え方を想定していますが、学校と十分に協議をしていきたいと考えています。

教育長

では、一部ご指摘のあった部分を修正し、私に一任していただくこととし、可決することに異議はないか。

(全委員異議なし)

(議案第50号は可決される。)

8. 報告事項

教育長

報告事項1「令和6年11月教育委員会事務局補正予算について」説明を求める。

(総務課長詳細説明)

大平委員

先日、井田川小学校の学校訪問時に、ジョイントの部分でジプトーンにカビが生えたような、雨漏りのようなところが1ヶ所見受けられたが、把握しているのか。

総務課長

雨漏りについては、学校の校舎自体が老朽化しており、小規模の雨漏りが発生している部分もあります。ご指摘の内容については、改めて確認させていただきます。

教育長 基本的に学校から要望が挙がってくるが、その度合いや影響等により、応急的に対策を行う場合もあるし、経過観察をする場合もある。優先度も違うため、それぞれ対応を行っている状況である。

教育長 報告事項2「市内小中学校における令和6年度上半期いじめ・不登校に関する事案について」事務局より説明を求める。

(学校課長詳細説明)

宮村委員 不登校について、今年度から作られた校内教育支援センターが非常に機能しているということで、良い取組をいただいていると思う。令和6年度は不登校の状況が過去から比べて増加気味の中で、様々なチャンネルができ、児童生徒の居場所を作り、非常にいい取組を行っている、今回の資料でも感じた。その資料の中で、令和6年度上半期で95名いるが、実態として、現況報告の中でも「完全に復帰した」とあったが、このうち完全に復帰されてるのは何名いるのか。また、引きこもりを今現在していて、全くこのようなチャンネルに接触しない方はどの程度いるのか、又は把握されているのか。

学校課長 手持ち資料がないので申し訳ありませんが、95名の中で完全に復帰したことで計上している人数が10人前後いると捉えています。また、引きこもりについては、1日も学校に出てこれない子、また10日以下の出席という子が数名いるという現状もありますが、そういう家庭でも学校や支援機関等どこにも繋がっていないという家庭はありません。

宮村委員 この95名が資料にある教育支援センター等と何らかの形で繋がっているということでもいいのか。

学校課長 この95名がふれあい教室やフリースペースかめっこに必ず繋がっているというわけではありませんが、養護教諭や関係機関等を含めまして、どこにも繋がっていないという児童生徒がいないということです。あわせてふれあい教室やフリースペースかめっこに繋がっていたとしても、欠席日数として30日を超えた場合につきましては、この中に計上されます。

教育長 基本的には、ふれあい教室等に通っている方は、そこへ行った日数は不登校にはカウントされていない。

学校課長 ふれあい教室やフリースペースかめっこ等を利用した日数につきましては、出席日数として扱っていますので、毎日ふれあい教室等に通っていれば欠席は0という形になります。ただ、やはりふれあい教室等に登録していても、毎日通えるわけではないお子さんもいますので、そうすると30日の欠席で不登校となる児童生徒もいます。

吉岡委員 資料9ページ、不登校児童生徒コーディネーターについて詳しく教えていただきたい。

学校課長 各学校の中から選んでいただいております、新たに誰かを教育委員会等から配置しているわけではありません。生徒指導主任や学年主任と同じような形で、学校の中で不登校の支援に対する窓口を明らかにし、保護者対応や不登校児童生徒の把握について、統括する役職を置いたというものです。合わせて、不登校児童生徒支援のコーディネーターの連絡会を設置しており、そこに取組の交流やスクールカウンセラー等による指導助言もいただいております。各校に設置されている校内教育支援センターの運営の核ともなる役割で、今年度1年目として運用を始めています。

吉岡委員 今年からか。

学校課長 今年度から、すべての学校でコーディネーターを設置しています。亀山市独自のものです。

教育長 担当者の会議は既に行ったのか。

学校課長 全体の不登校に関わる研修会につきましては、コーディネーター以外の方も含めまして、夏休み等に設けています。また、事例検討会等にも出席いただくような形となっています。学期に1回、校区分別や全体を含めて連絡会を行っているところです。現状、年間4回程度考えています。

大平委員 不登校児童生徒コーディネーターについては、名前のおり子どもたちの様子を見ながら、適切なところへ繋げていくという理解でいいのか。

学校課長 委員ご指摘のとおり、基本的には、一人一人の児童生徒に接するのは担任ですので、担任からの相談、また校内のケース会議といったような個別支援の会議のコーディネート等を行っております。

(ほかに質問はなく、報告を終わる)

9. その他

(図書館長) 図書館だよりについて

10. 閉会

午前10時48分

以上会議の顛末を記録し、下記のとおり署名する。

教育長

3番委員

4番委員